

葉山町子育て支援センター ほけっと 〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色1493-1 TEL: 046-876-4152

広場にダンゴ虫が迷い込んできました。春になると、室内にもたくさん遊びにきます。毎朝コロコロと転がっているのを掃除機で吸い取るかどうしようか迷っていると、子どもたちの顔が浮かび・・・つまんでお庭へ。このダンゴ虫たちにどれだけ助けられているか、感謝の気もちさえ抱いている私です。

四月、入園の頃。不安で泣いている子、お友だちができなくて一人ぼっちの子、お外がいい！と飛び出す子。てんやわんやの保育室から連れ出して、外の空気を吸いながら草花を眺めたり、地面に絵を描いたり、そうしているうちに必ずこの奇妙な生き物に出会います。つまんで子どもの手のひらに乗せるとコロコロと丸まり、じっとしているとまた動きだし、その動きに心を奪われ、いつしか笑顔になっていきます。自然は、どんな言葉がけよりも子どもの心を解きほぐしてくれる力を持っているのです。

先日ぶちでお預かりしたEちゃんが「おかあさんにおみやげ」と、ビニール袋にくしゃっとした葉っぱを大事そうに持っていました。「おとうさんにも…」と辺りを見渡すと、（お土産になるようなものはなんにもないな…）と思った私。Eちゃんはすぐに「あった！」と小さな野の花をみつけ、大事そうに摘みでは用意してあげたカップに差していました。そのとき、ある詩が浮かんできました。子どもたちは自然の一部のように感じます。頭でなく心で感じるすることができます。大人になると、心を奪われることがたくさんあり過ぎて・・・。

三月
芽が出てきましたと告げにくる子がある。花を見つけたと行って飛んでくる子がある。つれられて行ってみると、その花は低い雑木の枝の緑粒であり、その花は華のはがくれの名もない蕾である。「まだ、こんな小さいの・・・」
「まだ・・・」
それは将来のみを待って今を見落とす心、将来にのみ重きをおいて今を軽んずる心、浅はかにも、すげない、つぶやきの声である。春を四月の爛熟にのみ求めて、そのためにかえって、芽と蕾の今の春を「まだ・・・」としか受け取りえない、こちたくも欲深な、おとなの心である。三月の春は早く子どもにも来る。一步一歩近づきくる小さい春を、その時々にはいっばいにうけと、いっばいに楽しんでゆく子どもに。

倉橋 惣三著「育ての心」より



センター長 山浦彩子(やまうら あやこ)

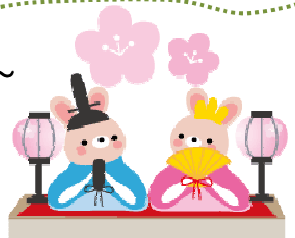
♪ いいこといいこと♪

- 「ふれあい遊び」毎日 11:00-11:30
- 〈水曜日〉 えいごで遊ぼう (大下りえこ先生)
- 〈月2回 第2第4 木曜日〉 3月のみ第2と第3です おやこでダンス (近ゆきこ先生)
- ◆「0歳児つどいの広場」毎週木曜 10:00-11:00



休館日・開館時間

- ◆大掃除 3/30(金) 広場は11:00～
- ◆休館日 日曜・月曜・祝日 ※3/20(火)は春分の日でお休みです
- ◆職員会議 3/17(土) ※広場・一時預かりのご利用は9:00-13:00になります



3月の予定

いいこと♪いいこと♪
広場の遊びから

娘が幼稚園のときに作ったキャラ弁

はじめまして、12月からほけっとの事務担当になった小林です。いつも事務室にこもっているの、なかなかみなさんとお話する機会がナイのですが、いつでもwelcomeなので、ぜひぜひ気軽に『どんちゃん先生～♪♪』って話しかけて下さい♡
そんな私が今回紹介するのは、娘が幼稚園の頃に作っていたキャラ弁です!!
いつものお弁当も、少しの手間で素敵～喜んでくれるお弁当になっちゃうんです♡ お弁当持ってポカポカ春のピクニック行きたいですねえ～♪♪



◆ 小林 恵美 (こばやし えみ) 事務担当 ◆

一時預かり
ぶちのお部屋から

自然体で無理せずのんびり・・・一日一日を大事に♡

昨年11月16日より“ぶち”に勤務させていただいております。ほけっとで二人目の「きょうこ先生」ということで、私は「おこ先生」と呼んでいただくことにしました。以前勤務していた幼稚園で自己紹介の折に「きょ・お・こ・せんせい～です」とゆっくり言ったら、小さいお友だちから「おこ先生」と呼ばれるようになってしまいました…そのときの呼び名で呼んでください。どうぞよろしくお願ひします♪
幼稚園(川崎第二ひかり)、幼児教室(学研)、保育園(市立高田)など、ずっと子どもと向き合う日々を過ごして参りました。常々、子どもたちのひたむきさや優しさや純粋な物事の捉え方に、元気づけられたり勇気をもったり教えられたり反省させられたりしています。長年生きてきてわかったことですが、問題を抱えているその時は、なんだかどうやってもカラマわり状態のように思っても、時が経ってみるといつの間にか解決して、それなりに受け入れられて穏やかな気持ちになれるものだということ…。

また、自分を変えることはとても大変なこと。ましてや他人を変えようなんて無理! なるべく折り合いつけて生きるのがとても大事なこと…。これらをふまえて一日一日を大事にして、自然体で無理せずのんびり過ごしたいと思うこの頃です。



◆ 藤岡 恭子 (ふじおか きょうこ) ぶち担当 ◆



ぽけっと

子どものこころ 親のこころ 入園入学特集



「子どもを勇気づける」=新生活へ向けてのこころの準備

3月、入園・入学など新しい生活の準備をする季節。集団生活では、親から離れてお友だちや先生との新しい人間関係が育まれます。**こころの準備**として、お子さんを勇気づけるためにはどうしたらいいでしょうか。あらかじめいろいろな集団を経験して人や場所に慣れる…？これは準備ができていないお子さんほど負担になるやり方です。場所によって異なるルールや環境に混乱してかえって不安が強くなるかも…心配して先回りするよりも「**あなたなら大丈夫**」とゆったり構えている方が、ずっとお子さんをやる気にさせるのではないのでしょうか。さらに、ご家庭で「**人間関係の下地**」をつくることをお勧めします。大きな集団の中よりもお母さんやお父さんの方が密度の濃い練習ができるはず。

「共感力」=「いっしょに感じる」「わかってもらう」をたくさん味わう

人間関係は、その字が表すとおり「人と人の関わりの中で学んでいけばよい」のですが、最初から**相手に警戒心や不信感をもたない**ことが円滑に学ぶコツです。そのためには、ご家庭で「**共感力**」を育む経験をたくさんすると効果的。お母さんやお父さんと「**いっしょにやると楽しい**」や「**できなくても失敗しても大丈夫**」をたくさん味わう。自分に一番近い**存在の人が「いつも自分のことを大好きでいてくれる」**と思えると、勇気凛々！元気百倍です！「**自分という人は喜んでくれる**」「**うまくできなくても、きっとわかってくれる**」と、初対面の人にも必要以上に緊張(警戒)しない心ができます。自分がしてもらったように相手に共感できて、**自分を信じて相手を好きになる**、円満な人間関係の下地になるのです。



はしを上手に使えない
=「不器用な子」ではない

→ はしを持って動かす機能がうまく育っていないだけ。手先を使う経験が増えれば必ずできるように…

おもちゃをゆずれない
=「いじわるな子」ではない

→ おもちゃで遊びたいと思ってもいい。「相手もやりたい」「順番に」が理解できるまで気長に…

積極的にできない
=「ダメな子」ではない

→ いろいろわかる証拠。安心材料が増えればできるようになります



「くじけない心」=失敗を怖れない、失敗したときこそチャンス

新生活を前に、親は子どものできないところ足りないところが目についてしまいがちです。ましてや「できなくても失敗しても大丈夫」とは思い難いもの。では、長い人生を考えたらどうでしょう。たいせつなのは、何でもすぐにはできることではなく「**失敗しても怖れないこと**」なのでは？失敗を怖れなければ、できなくてもまた**挑戦する勇氣(やる気)**も自然に湧いてきます。オーストリアの心理学者A・アドラーは、「**子どもが失敗したときこそ『くじけない心』を育むチャンス**」と、子どもを勇気づける育児法を教えました。

- ①「**できなかつた**」=「**できない子**」にしない。人格を否定しない。できると信じて「次にどうするか考える」ことがたいせつ
- ②**結果ではなくプロセス**に注目。「**学んだことでできたこと**もあると認める、挑戦は無駄ではない」
- ③**親が先回りして決めない、子どもに考えさせて選択させる**。自分のために必要なことだという自覚がたいせつ
- ④「**あの子ができるのに…**」と比較しない。**その子の成長を認める**。勝ち負けや結果ばかり気にしないために
- ⑤「**人に迷惑をかけないように**」ではなく、「**他人にお世話になって生きているから、自分も社会の役に立てるように**」生きることが目標。「自分を信じ、他人を愛し、社会に貢献する心を持っていれば、どんなに混乱した時代でも幸せに人生を送ることができる」etc.

「**力で押さえつけることなく、ほめたり罰したりで評価することなく、できるまで見守りできた喜びを共有する**」…アドラーは子どもたちに全幅の信頼を寄せていました。「**失敗してもいい。きっとできるようになるよ**」と、未来を切り開いていく子どもたちを信じて勇気づけたいですね。

◆ 上野 祐子(うえの ゆうこ) 副センター長・心理相談担当 ◆



ふあみさほ

ファミリー・サポート・センター

「子どもを預かってくださる方は、どんな方ですか？」おねがい会員さんの登録にいらっしゃる方から、よく質問される一言です。

そんな時、私たちアドバイザーは自信を持って、まかせて会員さんのお話しをしています。まかせて会員さんが全員受講している「保育サポーター養成講座」は、全24時間。研修を修了されていることはもとより、素晴らしいと思うのは、みなさん子どもたちが大好きで子育てをしている皆さんのお手伝いをしたいという気持ちにあふれた方々だということです。

定期的に3歳の女の子をお預かりしている支援会員さんから、「家族中が明るくなりました！パパもお預かりする日を楽しみにしていて、娘たちとお預かりしているお子さんが一緒に遊んでいるのを、目を見て見ているんですよ。」とうれしいお話を伺ったり、インフルエンザが流行していた時には、「もし自分の子どもがインフルエンザになってしまったら…そんな時どうしましょう？今は元気一杯なんですけど(笑)」と問い合わせがあったり。まるで我がことのように、お預かりしているお子さんを大切に思っていてくださる様子が手に取るように伝わってきます。

子どもたちの卒園や入学・進級の準備など、3月は慌ただしく過ぎてゆきます。誰かの手を借りたいとき、子どもの預け先に困ったときなどなど、皆さんのお手伝いができたらうれしいなと思っている私たちがいることをお忘れなく。

4月新しい年度の始まりとともに、皆さんとお話しする日を楽しみにしています。

アドバイザー一同



いいこといいことSPECIAL

じゃがじゃがDAY

～種いもの植え付け体験～

日時 3がつ17にち(土ようび)
11:00~12:00

場所 ぽけっと 広場&はたけ

対象 未就学児と保護者

内容 じゃがいもにまつわるお話し会
種いもの植え付け

もちもの 汚れてもいい服装、長ぐつ
飲み物、タオル、香腸など

雨天延期 予備日は3/22(木)

おやこ園芸活動は、自由参加型イベントです！
季節ごとに花づくり、野菜づくり、試食会など、さまざまな企画をしますので、ぜひ親子でご参加ください！

